



# ひかりのこ

2024年度 **冬号(12・1月)**

日本キリスト教団  
**名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)**  
 名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820  
 ホームページ: [名古屋新生教会](#)

近年、日本の世の中はハロウィンが終わるとすぐにクリスマスの飾り付けに様変わりしています。それまでのオレンジと黒から、赤と緑に移り変わっていきます。教会でのクリスマスを迎える期間は「アドベント」といい、クリスマス前の約4週間です。そのため、教会でのクリスマス飾りもこれに合わせています。結果的には世の中のほうが先になり、教会のクリスマス飾りは“遅い”と見られてしまいます。とはいえ、日本ではクリスマスを国中で自由に祝うことができるなんて、素敵なことではないでしょうか。世界では国によってはクリスマスをお祝いすることは決して許されない国もあります。クリスマスを迎えるにあたり、クリスマスを通して世界中の争いが一日も早くなくなり、世界の平和、そして私たちの身の回りの平和が訪れることを切に祈っています。



## 12・1月の礼拝 単元15: 神の救い

📖 …お話 🎵 …奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4~中学生) 9:00~9:30	プレイ・タイム (小学生/中学生) 9:35~9:55	こどもれいはい (幼児~小3) 10:00~10:20
12月1日 アドベント	ザカリアの賛歌	ルカによる福音書 1:5-25, 57-80	📖 武岡 基 🎵 武岡路実	クリスマスに向けて (クリスマス飾り作り)	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
12月8日	マリアの賛歌	ルカによる福音書 1:26-56	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ	クリスマスに向けて (クリスマス飾り作り)	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
12月15日 CSクリスマス	(救い主の誕生)	ルカによる福音書 2:1-7	13:30~CSクリスマス礼拝・祝会 礼拝: 📖 安達正樹牧師 🎵 武岡路実 (司会) 武岡 基 祝会: 金城学院高等学校キャラバン隊、ピンゴ		
12月22日 教会クリスマス	羊飼いと御使い	ルカによる福音書 2:8-20	📖 堤 砂里奈 🎵 武岡路実	クリスマスに向けて (クリスマス飾り作り)	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
12月24日	キャンドルサービス 17:30 ~ お家の方もぜひ一緒にいらしてください ローソクの明かりのもと、クリスマス・イブの礼拝を守ります。今年はオープニングに子どもベルのみなさんが演奏します。				
12月29日	シメオンとアンナ	ルカによる福音書 2:21-38	📖 武岡 基 🎵 堤 砂里奈		📖 武岡路実 🎵 堤 砂里奈

## 単元16: 神の子イエス⑤

1月5日	目の見えない人を癒やす	ヨハネによる福音書 9章	📖 武岡 基 🎵 武岡路実		📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
1月12日	癒やされた10人	ルカによる福音書 17:11-19	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ		📖 安達いづみ 🎵 武岡路実
1月19日	子どもたちを招く	マルコによる福音書 10:13-16	📖 安達正樹牧師 🎵 堤 砂里奈		📖 安達正樹牧師 🎵 堤 砂里奈
1月26日	ザアカイ	ルカによる福音書 19:1-10	📖 堤 砂里奈 🎵 武岡路実		📖 安達いづみ 🎵 武岡路実



## ☆クリスマスツリー点灯式 12月1日(日) 16:30~

クリスマスを迎える期間を「アドベント」といい、今年は12月1日(日)から始まります。毎年、このアドベントに入る日に教会のクリスマスツリー点灯式を行っています。どうぞご参加ください。

## ☆CSクリスマス礼拝・祝会 12月15日(日) 13:30~(15:00終了予定)

イエスさまの誕生をお祝いしてクリスマス礼拝を守ります。(朝の礼拝はありません)  
 祝会では金城学院高校キャラバン隊のみなさんによる人形劇や手遊びなどで楽しい時間をもちます。  
 いつも教会に通っていないお友だちも誘って、みんなで祝いましょう!

## 12・1月の聖句



どんなことにも感謝しなさい。  
 これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

(Iテサロニケ 5:18)

## 12月のさんびか♪

こどもさんびか 71 (ことりもとびさるふゆのさなか) 讃美歌21…254

この賛美歌はクリスマスの賛美歌としては日本ではあまり馴染みがありませんが、ヨーロッパ、とりわけフランスではクリスマス・キャロルとして有名な賛美歌です。ももとの旋律はフランスの民謡に基づきますが、北アメリカ大陸へ渡ったフランス人のイエズス会宣教師ジャン・ドゥ・プレビューフさん(1593-1649)がアメリカ先住民の言語の一つであるヒューロン語で書いたものと伝えられています。創作された年は不明ですが、1642年ごろには歌われていたと考えられています。早くからアメリカ先住民への宣教も盛んに行われ、17世紀にはカナダ東部の先住民たちに彼らの言葉で礼拝することも許されていました。その後、キリスト教に対する先住民による排除する動きが深まり、宣教師たちも襲撃されて殉職しましたが、生き残ったヒューロンの子孫たちによって歌い継がれ、ほぼ1世紀後に他のフランス人神父によって書きとめられました。そこからフランス語に訳され、カナダ東部のケベックを中心に歌われるようになりました。このフランス語訳から作られたミドルトンさん(1872-1960)による英語訳で、「森の狩人」や「うさぎ皮にくるまれた御子」など、先住民の生活感や文化が反映されたユニークなクリスマス・キャロルです。

## 1月のさんびか♪

こどもさんびか 1 (おはよう! きょうはにちよう!)

主日(日曜日)に行われる教会学校・日曜学校の礼拝や、子どもの教会、名古屋新生教会では子どもの礼拝、といった子どもが参加する主日礼拝を想定しています。現在の『こどもさんびか改訂版』(2002)のために日本基督教団讃美歌委員会によって新しく歌詞が書き下ろされました。作曲者は不明ですが、明治期からいろんなこども賛美歌集に収録されてきました。ところが『こどもさんびか』(1966)には採用されず一旦姿を消してしまいました。今回の新しい歌詞によって「創造の日」「小イースター」として日曜日の礼拝の大切さを歌う賛美歌として、もう一度生かされることになりました。以前の『こどもさんびか』にはなかったため、現在の『こどもさんびか改訂版』に登場して「新しい賛美歌」と思われる方もありますが、実は明治期から歌い継がれてきた賛美歌だったのです。曲調からすると斬新さが感じられ、明治時代に歌われていたとは考えられない「新鮮さ」がありますね。日曜日、私たち一人ひとりも礼拝を通して神さまによって新しくされ、新しい週の初めに相応しい賛美歌です。



12・1月生まれのお友だち